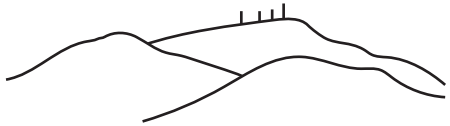
Devotion Guide/ユースマナ

Youth Manna

2020/2/24 - 3/1



マルコ 1:35
　さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/2/24(月)

レビ 23:1-14

　レビ記 23 章は主の例祭について書かれている箇所です。
　安息日 (3)、❶過越の祭り (5)、❷種なしパンの祭り (6-8)、❸初穂の祭り (10-14) (明日の箇所で❹五旬節、❺ラッパの祭り、❻贖罪の日、❼仮庵の祭りを読むよ!)
　❶❷は出エジプトの出来事を (出エジ 12 章) ❸は約束の地での神様の恵みを覚えるためのものですが、これらの祭りはイエス様を表すものでもあります【❶❷はイエス様の十字架 (1 コリ 5:7)、❸はイエス様の復活 (1 コリ 15:20) 興味ある人は読んでみよう！】
　そして安息日について最初に書かれているのは、それだけ大事なことだからなんだ。ただ休みの日としてではなく、その日を特別に神様のために区別することが僕らのすべきことだね。救われた者として今日一日を神様のために生きよう！

2020/2/25(火)

レビ 23:15-44

　15-21 節は七週の祭についてである。主に感謝し、パンを献げる。
　22 節には神への感謝や、神が民を受け入れくださる寛容が、貧しい人への愛の配慮へ広がっていくことが表れている。
　第 7 の月の一日は、角笛を吹き鳴らす聖なる会合であり、仕事を止め、礼拝が行われる（24-25)。片手間は許されず、主への礼拝に集中する必要がある。そして民は、一年の収穫が終了するとともに、罪と汚れを清算する宥めの日を迎える (27)。
　最後は仮庵の祭である（34)。主の収穫を喜び、約束の地に至る荒野の 40 年を思い起こして主の導きに感謝する。
　2019 年度、神様が自分にしてくださったことを思い起こし、感謝を献げよう！

2020/2/26(水)

レビ 24 章

　天幕の中の奉仕は、民と祭司、神の民全体で繰り返し担い、支えました。ともしびのためには質の良い純粋なオリーブ油を用い、その油は民が持ってきます。それを祭司が整えます。民も祭司も、互いの役割を知り、みんなで奉仕をします。
　主は、うわべではなく心を見られるお方です (第一サムエル 16:7)。私たちにとって、質の良い純粋なオリーブ油を持っていくとは、どんなことでしょう。今日のみことばを、かみしめ歩む、そんな一日となりますように。

2020/2/27(木)

レビ 25:1-28

　安息の年は地の全き休みの年であった。人間は 6 日働いて 7 日目が主の安息であった。土地は 6 年の耕作の後、7 年目は土地の手入れも農作業もしない。人が耕さなくても地は産物を出した。そして畑の持ち主のほか、誰でも、動物でも畑に入り込んで食べてよかった。
　1 年間の休みは儲かる収穫をやめることになる。これは儲けたいという誘惑になったかもしれない。だからこそ神の戒めに従うかの従順のテストになったかもしれない。
　現在のわたしたちの生活の中で、安息日をどのように取り入れて生かすことができるだろうか。考えよう！
　周りと同じようにすることだけが正しいことではない。真の正しさを見極めよう！！

今日はビスケットの日 2020/2/28(金)

レビ 25:29-55

　23 章から続いてきた年月に関する教えのクライマックスはヨベルの年です。ヨベルの年には土地も雇い人も解放されました。土地やイスラエルの民は神様のものだからです。
　ルカ 4 章 18,19 節を読もう！ここで書かれていることは、安息年とヨベルの年をよりリアルに知ることができます！ヨベルという素晴らしい仕組みはキリストによる休みと解放を示していました。ヨベルの年は 50 年に 1 度の解放でしたが、イエスによる安息と解放は永遠です。これはこれから成就することも含まれていますが、このレビ記を学ぶことを通して、神様が私たちに用意しておられることを知ることができます。今日ルカで書かれているこの約束をもって、1 日を歩むことができますように。

2020/2/29(土)

レビ 26:1-26

　いよいよレビ記のクライマックス！神様が、神の民となる人々に神様のもとで、神様に従うことを求めている。
　偶像礼拝を避け、安息日を守るのは、主を主として恐れるためなんだ。みんなは礼拝の時間を大切に優先してるかな？
　その後に、神様に従って与えられる祝福、従わないで与えられる裁きについてかなり具体的に書かれているね。神様の祝福は、現実として今も具体的にある。そして、神様はその祝福を私たちにあげたいと思ってくださっているよ。だから、「従いなさい」と神様は語るんだね。
　11、12 節をもう一回読もう！このことは今もイエス様が来たことで実現している恵みだよ。今日その恵みを受けて、神様に従う具体的な応答を一つしてみよう！

2020/3/1(日)

レビ 26:27-46

　今日の箇所には神様とイスラエルの民との契約に基づく、祝福とのろいが詳しく記されています。とても恐ろしい警告が書かれているけれど、後の時代に、イスラエルは神様に逆らってこののろいを自分に招いてしまったよ。だけど神様はいつでも回復の道を備えておられるお方です (40-45 節)。
　今は、イエス様によって救いがすべての人に開かれ、応答するすべての人が神様の民となることができます。このような神様の恵みをあずかっているのだから、福音を信じて、神様を恐れる者ならなければならないね。
　イエス様が救いを開いてくださったことに感謝します。神様が生活のうちでしてくださることを日々覚え、恐れる者となれますように。